

60298

教科書文庫

6
720
34-1950
01304 49955

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

inches
cm

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

1

2

3

4

5

10
春陽

小国235

広島大学図書

0130449955



文部省検定済教科書

しよがく かきかた

二ねん

教科書文庫

6

720

34-1950

0130449955

KC4

Sh996

東京 春陽堂 発行

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

1

2

3

4

5

中央図書館

広島大学図書

0130449955



教科書文庫

6

720

34-1950

0130449955

昭和二十五年 月 日 文部省検定済
小学校国語科用

しよがく かきかた

二ねん

広島大学
教育学部図書

広島大学図書

0130449955



贈
寄



東京 春陽堂發行

まえがき

- 一、このほんはみなさんのために、ただしよいじがかけるようにかんがえてつくったものです。
- 二、つぎのことにきをつけてれんしゅうしましょう。
- ① しせい、えんぴつのもちがたにきをつけましょう。
 - ② うえのせつめいをよくよんでからかきましょう。
 - ③ 一どかいたならおてほんのじとくらべてみてまたかきましょう。
 - ④ うえのせつめいをよんで、やってみたいことがあつたらかいてみましょう。
- 三、すこしずつでもたびたびけいこすればそれだけじょうずになります。まいにちつづけ、けいこしましょう。
- 四、じはこころのかがみです。じをみればそのひどがらがわがるといいます。こころをおちつけてけいこしましょう。

もくじ

一	たのしい春	十七	よいこの
二	春のはなのいろ		べんきよう
三	よいこ	十八	かんじのかき
四	かん字のかたち		かた(その二)
五	春のたねまき	十九	じょうぶな
六	うちでかう		からだ
七	つよいからだ	二十	ふしぎなこと
八	きせつだより	二十一	さく文のかき
九	めにうつつた		かた(その二)
十	つゆのきせつ	二十二	ねんがじょう
十一	てんきしらべ		のかきかた
十二	さくぶんのかき	二十三	かん字のかき
十三	水あそび		かた(その二)
十四	はがきの	二十四	はがきのたび
十五	えにっきの	二十五	冬ののはら
十六	うんどうの	二十六	きせつだより
	きせつ	二十七	そうじ
		二十八	さく文どえ
		二十九	まい日おせわ
			になる人
		三十	かたかな
			五十おん

二 春のはなのいろ

○ すみれ むらさき

○ れんげそう ももいろ

○ たんぽぽ きいろ

○ やぐるまそう あか

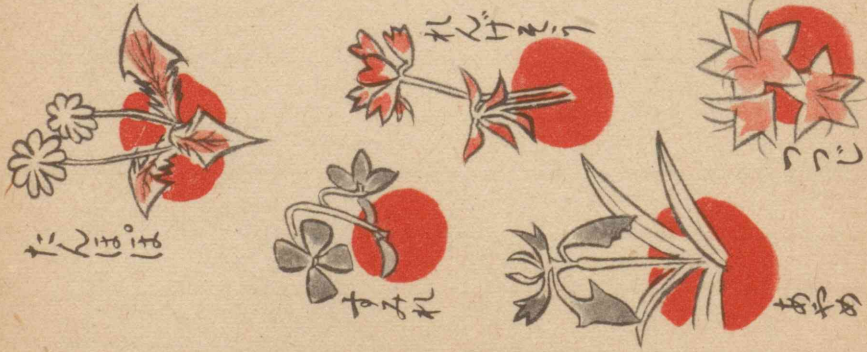
 むらさき

 そのほかいろいろ

○ あやめ むらさき

○ つつじ あか、しろ

 むらさき



す み れ、 む ら さ き、

れ ん げ そ う、 も も
い ろ。

た ん ぽ ぽ、 き い ろ。

四 かん字のかたち

かん字のかたちのいろいろ

光

東

南

中

豆

心

麦

日

○している字のかたちをいろいろ
かんがえてみましょう。

東

北

右

麦

東

北

右

麦

お日

お日さまが光る。

四方

四方は東西南北。

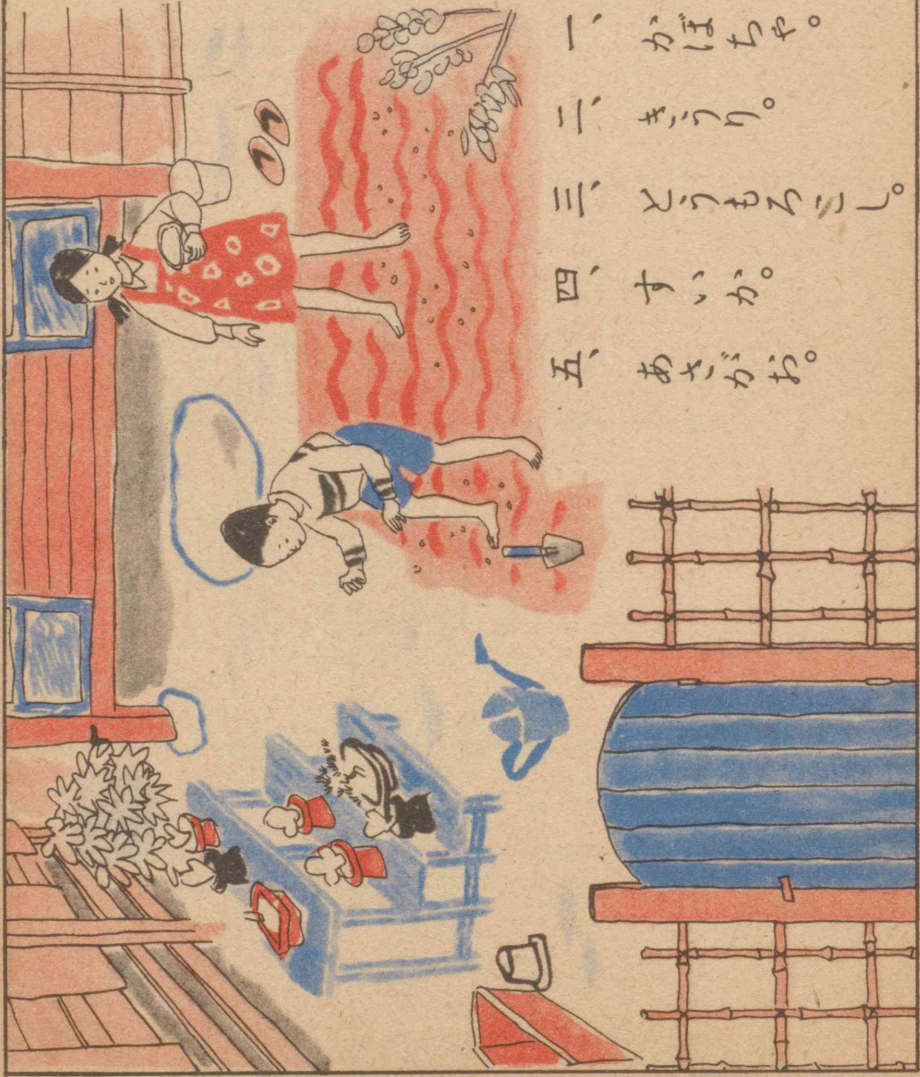
車は

車は左がわ
右がわを
とおる。

五 春のたねまき

春には、いろいろのたねをまきます。
わたくしのしっているもの。

- 一、かぼちゃ。
- 二、きうり。
- 三、とうもろこし。
- 四、すいか。
- 五、あさがお。

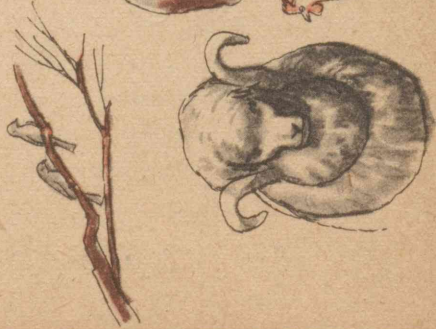
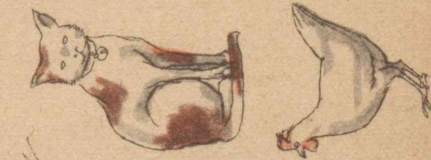
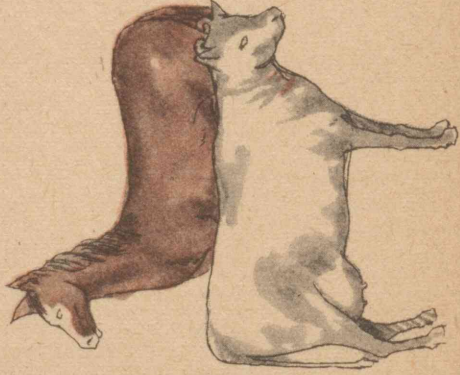
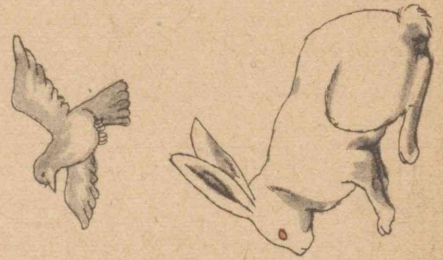


春	の								
春	の	た	ね	ま	き	。			
か	ぼ								
か	ぼ	ち	や	。		き	う	り	。
と	う	も	ろ	こ	し	。			

六 うちでかういきもの

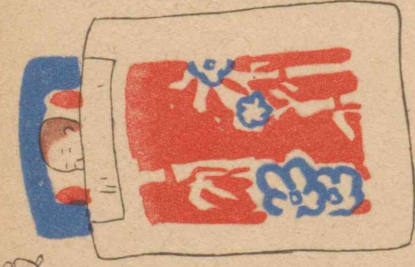
うちは いろいろ
な いきものを かい
ます。
わたくしの してい
るもの。

- 一、うさぎ。
- 二、にわとり。
- 三、うま。
- 四、うし。
- 五、ねこ。
- 六、はと。
- 七、ひつじ。
- 八、こどり。

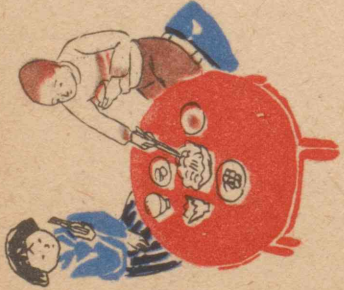


う	き								
う	さ	ぎ	。	な	が	い	み		
み	。	四	本	足	。				
に	わ								
に	わ	と	り			二	本	足	。
た	ま	ご	を			う	む	。	
う	ま								
う	ま	。		う	し	。	ね	こ	。

せ つ よ い から だ



ぬ



- つよ い から だ に
なるには、つぎの こ
とが 大せつです。
- 一、うんどうをする。
- 二、しんこきゅうを
する。
- 三、よく ねむる。
- 四、たべものに すき
きらい を なく
する。
- 五、いつも から だ
や き も の を せ い
け つ に し て い る。

うんどうを、する。

よく ねむる。

いろいろ たべる。

からだのせいけつ。

ハ きせつだより

月	日	(日)	きのついたこと
四	一〇	(日)	○川どての さくらが さきはじ めた。 ○つばめを はじめて みた。
四	二〇	(水)	○どうもろこしの めが ではじ めた。 ○ひよこが、セわ がえった。
五	九	(月)	○つばめが、わたしの うちの のきしたに、ニわ すを、 つくり はじめた。



五月九日 (月) はれ

つばめが

五月九日 (月) はれ

つばめが、わたしのうちの
のきしたにニわですを、
つくりはじめた。

丸めにうつったもの

一人さんは、がっこうの かえりに
いろいろなものをみました。
それを みんな かきました。



おみせや	おみせや	
小川	小川	
はし		
やさい		
ポスト		
てんしゃ		
ましや		
じてんしゃ		
じてんしゃ		
びぐるま		
えんどう		
いけ		

つゆのきせつ

つゆが きました。雨が よくふります。
たんぼでは、たうえが はじまります。

まい日、じめじめして います。ものに
がびが はえやすくなります。たぐもの
や、のみものに 気をつけて、びようきに
ならぬように しましょう。

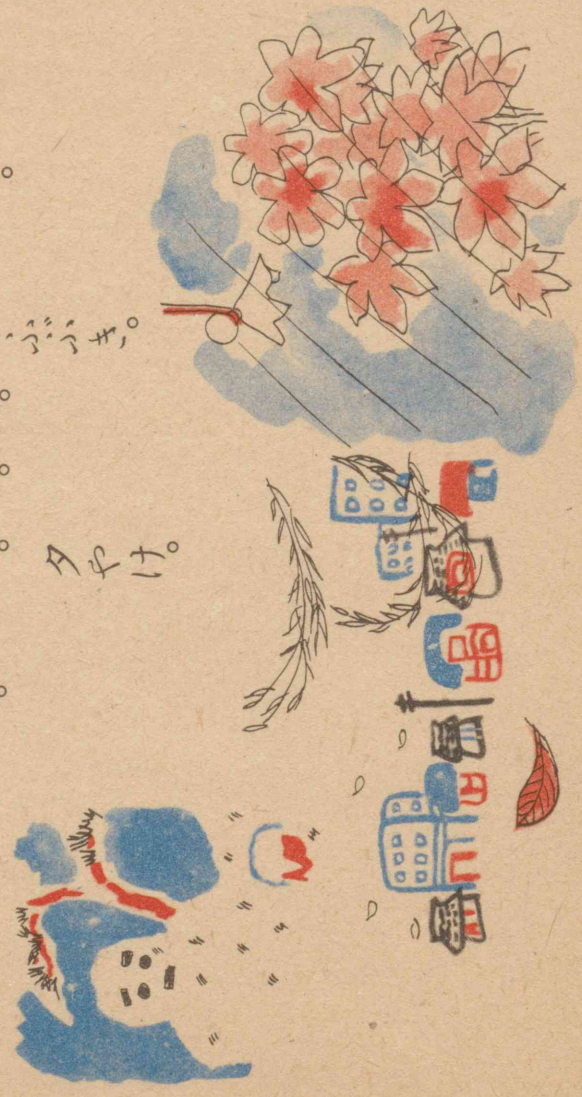


つ									
つ	ゆ	が	き	ま	し	た			
雨	が	よ	く	ふ	り	ま			
す	。	た	ん	ぼ	で	は			
た	う	え	で	す	。				
雨	が	よ	く	ふ	り	ま			
す	。	た	ん	ぼ	で	は			
た	う	え	で	す	。				

十一 てんきしぐ

てんきしぐのとき、よく つかわれる
ことば。

- 一、 はれ。
- 二、 くもり。
- 三、 雨。
- 四、 ゆき。 ぶき。
- 五、 しぐれ。
- 六、 夕だち。
- 七、 朝やけ。 夕やけ。
- 八、 がぜ。
- 九、 おんど。



てんきしぐ

7月1日	金	はれ	7月1日	金	はれ
7月2日	土	くもり	7月2日	土	くもり
7月3日	日	雨	7月3日	日	雨
7月4日	月	くもり	7月4日	月	くもり
7月1日	金	はれ	7月1日	金	はれ
7月2日	土	くもり	7月2日	土	くもり
7月3日	日	雨	7月3日	日	雨
7月4日	月	くもり	7月4日	月	くもり

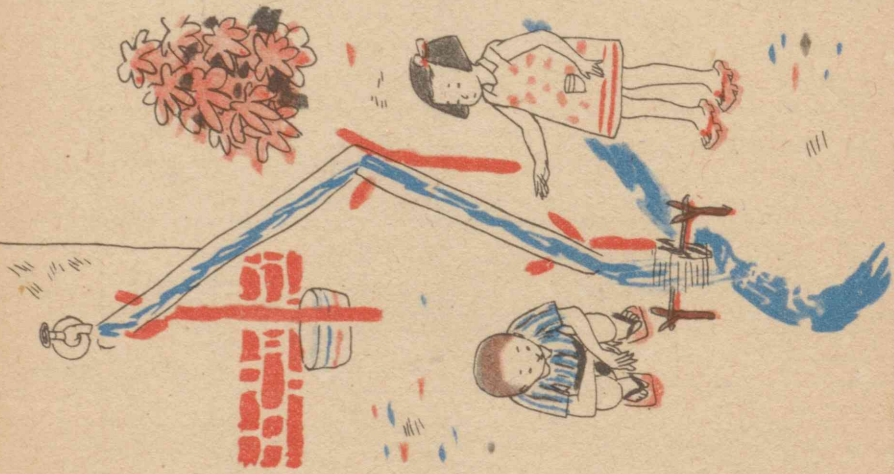
十三 水あそび

水あそびの きせつが きた。

○小川にいて、 ささぶね きょうそうが
できる。

○めだかが かるそうに およいで きた
ので そと すくった。

○水車あそびが できる。



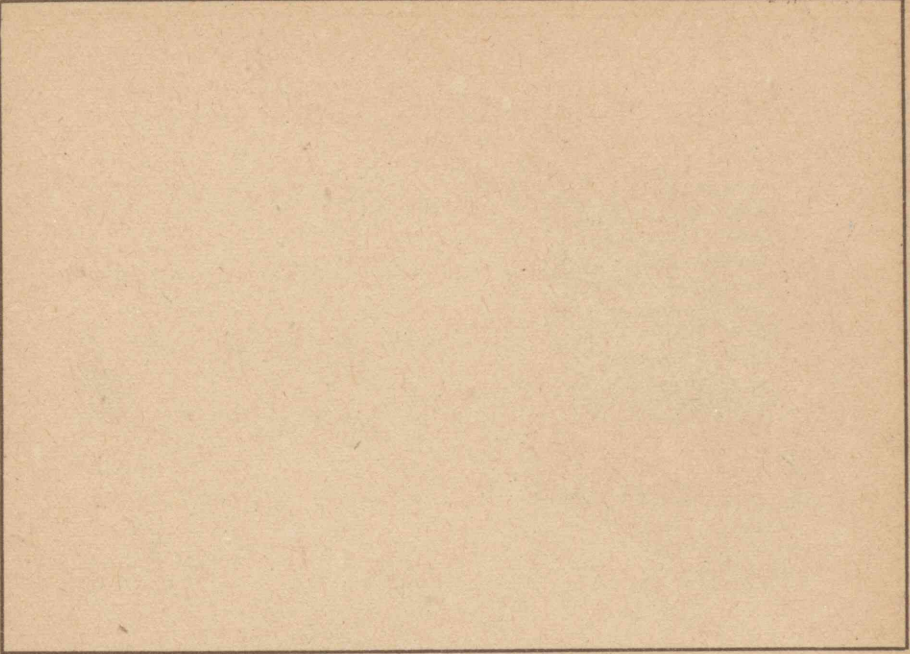
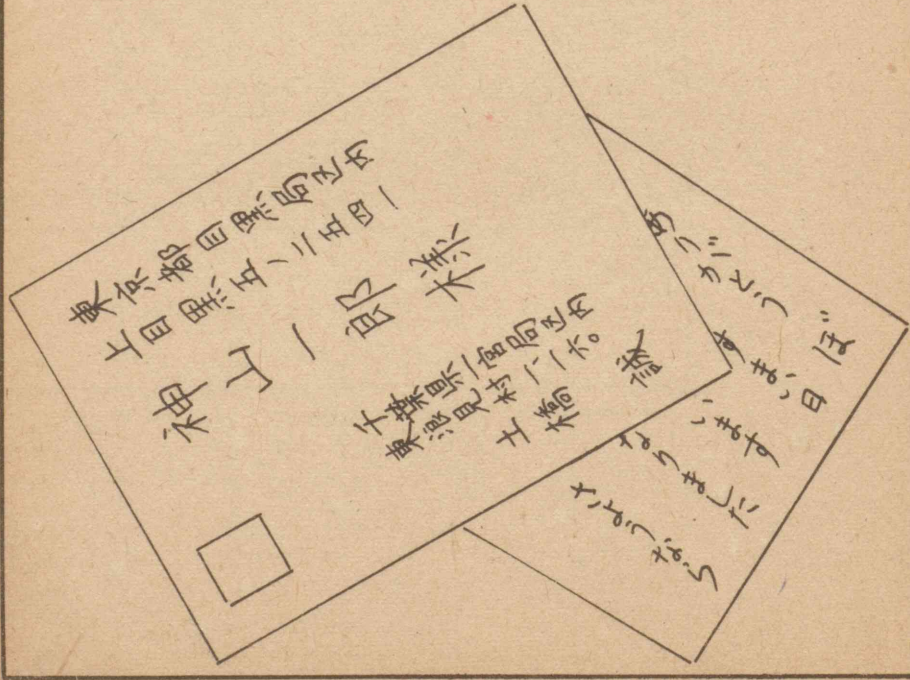
水^{みず}車^{くるま}のあそび

小	川						
小	川	で	、	さ	さ	ぶ	ね
き	よ	う	そ	う	。		
め	だ						
め	だ	か	を			す	く
水	車	を	、	つ	く	る	。
水	車	を	、	つ	く	る	。

十四 はがきのかきかた

はがきをかくときのちゅうい。

- 一、知らせたいことをはっきりかきます。
- 二、あいてのあてな、ところばんちを、まちががなく、ただしくかきます。
- 三、文字を、正しく、きれいにかきます。
- 四、れいぎをなくさないようにかきます。

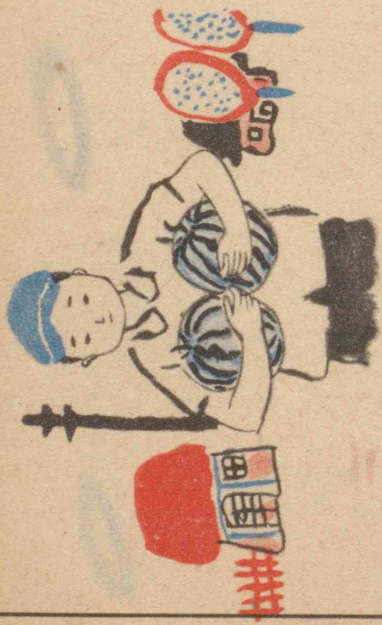


おはがきありがとうございました。ほくもげん気です。ま、日海であそんでますのでずぶんくろくなりました。た、ようなら。

十五 えにつきのかきかた



八月十五日(月)はれ
まっしろな うさぎを、
しんせきから、二ひき
いただきました。
おとうさんに うさぎば
こをつくらせてもら
いました。



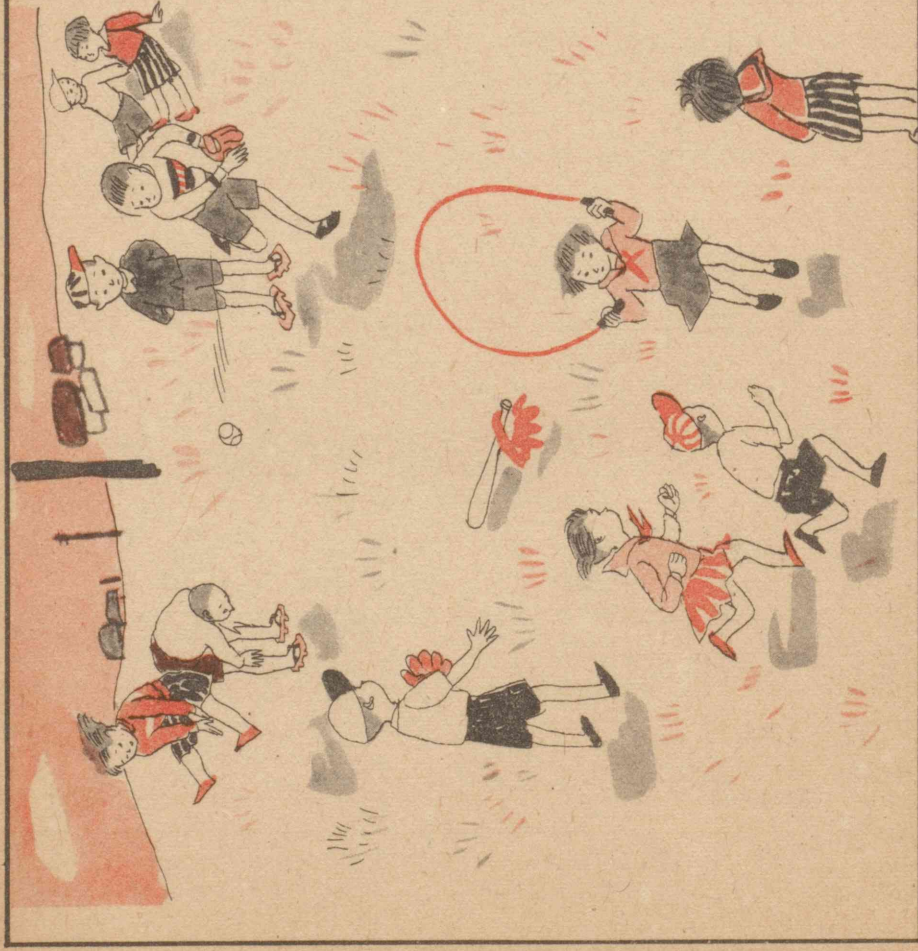
八月二十日(土)くもり
きょうの ごご、はた
けから、すいかを
二つ とってきまらした。
たいへん おいしい
すいかでした。

八月十五日(月)はれ

まっしろな うさぎを、
しんせきから 二ひき、た
だきました。 おとうさんに
うさぎばこをつくらせても
らいました。

十六 うんげいの せつ

うんげいの せつに なりました。
げんきよく うんげいを しましよ。



た の

た の し く あそぶ。

な か

な か よ く おどる。

み ん

み ん な で は し る。

十七 よいこのべんぎよう

- 一、じかんと きめる。
- 二、正しい しせいで する。
- 三、どぶくを よくそろえる。
- 四、べんぎようをするこどがらを きめる。
- 五、まい日 つづける。



よ	い								
よ	い	こ	の	べ	ん	ぎ			
よ	う	。							
じ	か								
じ	か	ん	を	き	め	る			
正	し								
正	し	い		し	せ	い	。		

十八かん字のかきかた(その一)

○中心を みつけやすい じ。

本 水 中 東

○へんと つくりどて できている じ。

休	イ	木	海	シ	毎
村	木	寸	町	田	丁

○上と下とに かさなつて いる じ。

男	田	力	思	田	心
---	---	---	---	---	---

○かく じゆんじよ。

一、上から下のほうへ、左から右のほうへ。

二、へんを先に、つくりを あとに。

三、かさなつて いる じは 上を先に。

本 水 中 東 雲 糸 事 車

本 水 中 東 雲 糸 事 車

休 海 村 作 紙 町 話 枝

休 海 村 作 紙 町 話 枝

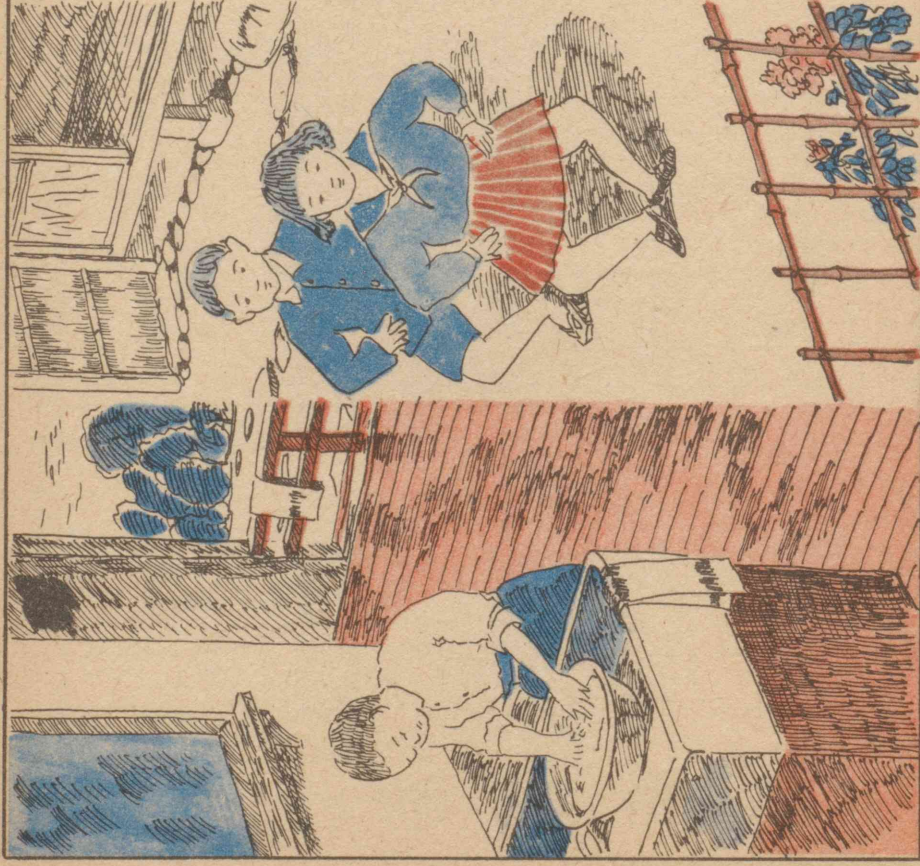
男 思 音 星 意 空 花 安

男 思 音 星 意 空 花 安

十九 じょうぶなからだ

私たちは、どんなことに 気をつけると
じょうぶな つよい からだに なるぞ
しょう。

かんがえて みましょう。



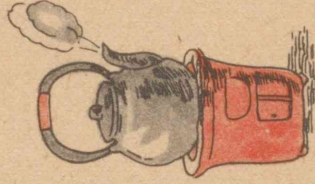
雨にも

雨にも、風にも、あつさ
にも、ちぢさにも、まけ
ない、じょうぶな、からだ
になる。

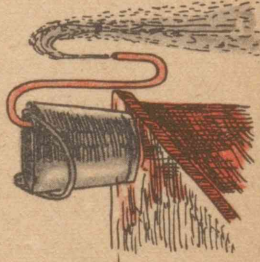
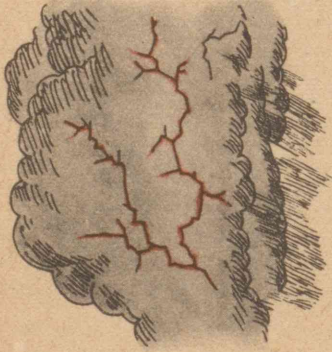
二十 ふしぎなこと

ふしぎなことが あなたの 目のまわり
に ありませんか。

- 土や空のこと。
- どうぶつのこと。
- 草や木のこと。
- きがいや どう
ぐのこと。



ふしぎなことが あつたら、よくしらべ
ましょう。



はじめ

始め

始め

どんなに

どんなに 小さなこと
でも、ふしぎなことに
きがつくと、すぐにし
らべ始める。

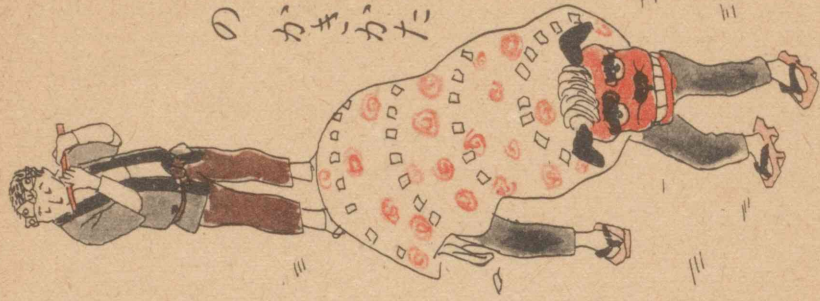
二十一 さく文の かきかた(その二)

- 一、字 はていねいにはつきりがく。
- 二、だいは、少しきげてかく。
- 三、かきはじめのときや、あたらしく行^ぎか
かわるときは、一字あける。
- 四、てんど、まるは、一つずつとる。
- 五、「 」かぎや()かっこは 一つの
ますをつかう。

きくの花
二ねん二くみ 山田よしこ
きくの花が、おにわのすみに、きれいに、さいた。
赤 白 き色 うすもも色の 豆ぎくです。赤い花
が一ばん 大きく さいて います。
おじいさんと、こどしの春、まだ小さかったとき、
うえかえを した きくでした。あんなに きれい
に さいたので、とても うれしいです。
「ていれを よくすれば もっと 大きい きれ
いな花が たくさん さきますよ。」と、おじいさん
が おっしゃいました。
私は、きくの においが 大好きです。らい年は
もっと たくさん うえて、きれいな花を さかせ
たいと、おもいます。

「ていれを
「ていれを よくすれ
ば もっと大きい きれ
いな花が、たくさん さ
きますよ。」

二十二 ねんがじょう
のかまかた



(その一) あけましておめでとう
ございます。

あけまして
おめでとう
ございます
一月一日

長野県飯田局区内
土久堅村一五三三
白石一郎先生
 東京都品川局区内
荏原町七ノ五五五
田代正男

(その二) 新年おめでとうございます。

新年
おめでとう
ございます
一月一日

東京都世田谷局区内
下馬町二ノ三二
川村すみこ様
 千葉県神崎局区内
千種村青柳五〇
小島道子

○ほかのかみにもれんしゅうしましょう。

あ

あけまして
おめでとう
ございます
一月一日

二十三 かん字の かまかた(その二)

かん字は かがが多いので にているもの
が たくさんあります。

自目。父文。波枝。

○ここの 本の中から にているかん字
を みつけて くらんなさい。

<p><small>なみ</small> 波 <small>ナミ</small></p>	<p><small>き</small> 季 <small>キ</small></p>
<p><small>えだ</small> 枝 <small>エダ</small></p>	<p><small>なつ</small> 夏 <small>ナツ</small></p>
<p><small>はは</small> 母 <small>ハハ</small></p>	<p><small>おや</small> 親 <small>オヤ</small></p>
<p><small>くるしい</small> 苦 <small>クルシイ</small></p>	<p><small>かんがえ</small> 考 <small>カンガエ</small></p>

自目父文波枝母每

苦心四季春夏秋冬

食事全快親子思考

二十五 冬のはら

冬のはらで きのついたこと。

一、かぜが つめたい。

二、しもばしらが たつ。

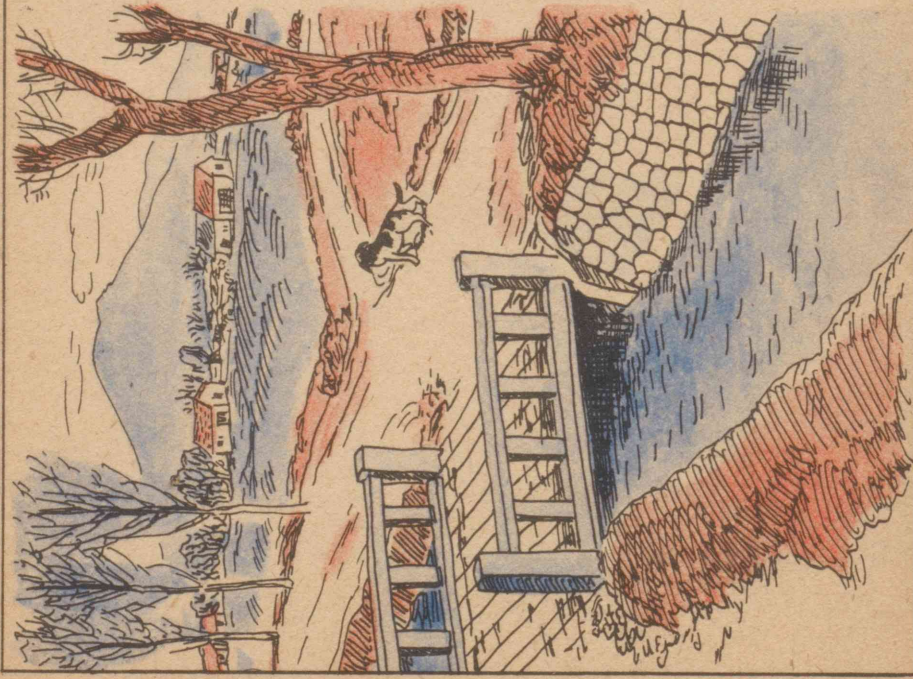
三、虫が 見えない。

四、草木が、ねむって いるよう。

五、水が つめたい そして きれい。

いろいろと 気のついたことを みんな

ノートに かきましょう。



一
二
三
四
五
一、かぜが つめたい。
二、しもばしらが たつ。
三、虫が 見えない。
四、草木が ねむっているよう。
五、水が つめたい。そして
きれい。

二十六 きせつだより

きせつだよりを つづけて かいて い
きましょう。



○かくことからは、つぎのことが よい
と おもいます。

一、空や土のこと。

二、草や木のこと。

三、どうぶつ (けもの・虫・鳥・魚) の
こと。

○めずらしいこと、ふしぎなこと、はじ
めて 気づいたことを かきましょう。

月	日	(号)	え	気のついたこと
二	六	(月)		けさ 六じごろ うぐいすが うらにわの うめの木で なっていた。 ことしにな って、はじめて きました。
二	一	(金)		家のにわとりが 今日 はじ めて たまごを うんだ。 あまり 大きな たまごで は なかった。

二月六日 月ようはれ

けさ 六じごろ うぐい

すが うらにわの うめの

木で、なっていた。ことし

になって、はじめて、きん

た。

二十七 そうじ

そうじは 私たちにも できます。
 せいけつに することは、じょうぶな
 からだになるために たいせつなことです。



私 わたし は 私 たち も か ん じ を し ま す 。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

そ	う	じ							
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

そ	う	じ	は	私	たち				
に	も	で	き	ま	す	。			

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

は	く								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--

と	ん	を	ふ	く	せい				
			し	ま	す	。			

二十八 さく文とえ

- さく文は、自分の心もちを 文であらわします。
- えは、自分の心もちを えにあらわします。
- さく文も、えも、よくにている ところがあります。
- えにつきは、えと文との りよう方を つかいます。



一月十六日 (月) くもり
 今日から じてんしゃを、おけいこ
 することに しました。おにいさんが
 おしえて くださいました。なんか
 も ころんだり ぶつかったり しま
 した。

一月二十一日 (土)

はれ
 学校から かえって
 ひよこの はこを
 あけてやると、私の
 足を つつきに き
 ました。



おもしろがって には
 ると、どんどん おい
 かけて きました。私
 は ひよこが 大すき
 です。

一月

一月二十日 (土) はれ

学校から かえって、ひよこの
 はこを あけてやると、私の
 足を つつきに きました。おも
 しろがって にはげると どん
 どん おい かけて きました。

二十九まい日 おせわになる人

まい日、私たちが おせわになっている人を かんがえて みました。

一、おとうさん、おかあさん。

二、先生や、まぎょういん。

三、えきいん。

四、いしや。

五、いちばの人、はいきゆうじよの人。

六、じゆんさ (おまわりさん)。

七、しょうぼうじよの人。

八、ゆうびんきよくの人。

○ まだあるでしょう。かんがえて みましよう。



おせわに

おせわになる人

一、おとうさん、おかあさん。

二、先生や、まぎょういん。

三、えきいん。

四、おしやさん。

五、いちばの人、はいきゆうじよの人。

10
春陽
小国 235

表紙
挿絵

同
同
同
同
東京学芸大学教官

石井 明
浜野 政雄
倉田 三郎
龜岬 嘉子
武藤 重治
木場 孝
栗原 一
西脇 吳一雄

本書の著作にあずさわった人

発行所

株式会社 春陽堂

電話日本橋〇〇五二・四八四八
振替東京一六一七番

東京都中央区日本橋通三丁目八番地

APPROVED BY MINISTRY
OF EDUCATION
(DATE)

代表者 西脇 吳 石

東京都中央区日本橋通三丁目八番地

発行者 株式会社 春陽堂

代表者 和田 欣之介

東京都板橋区志村町五番地

印刷者 凸版印刷株式会社

代表者 原 喜 平

しょうがく かきかた(二ねん)
総頁 六四頁
定價 円

昭和二十五年 月 日 印刷
昭和二十五年 月 日 発行

広島大学図書

0130449955

